



4年生 防災出前講座 起震車体験

9月28日(木)に4年生は、社会科「自然災害からくらしを守る」の学習の一環として、防災出前講座を実施しました。岡崎市消防署からお二人の方が来てくださり、まずは起震車に乗って、1995年(平成7年)1月17日に発生した阪神淡路大震災と同様の揺れを体感しました。起震車体験では、実際に物が落ちて壊れたり、家屋が倒壊したりして命の危機に直面するということがないのでそれほど大きな恐怖は感じませんでしたが、それでも激しい揺れによって



思うように体が動かせないことから、地震の怖さを少なからず体感できました。続いて最大震度の震度7を体験すると、さすがの縦揺れ横揺れに、驚く子がたくさんいました。消防署の方のお話から、予期せぬ出来事が起きた時には、「我が先にではなくて、譲り合いの精神が大切」ということを学びました。また、災害の被害を軽減するためには、「自助(自分の身は自分で守る)・共助(地域の人たちが力を合わせて協力する)・公助(国、県、市などの行政機関の救助や援助)」が不可欠ということも教えていただきました。日ごろから、様々な災害を想定して、いつ、どこで、どんなことが起きたら、どう対応すべきかを考え、家族で話し合っておくことも大切です。「備えあれば憂いなし」ですね。



3年生 社会科見学 スーパーマーケット

9月27日(水)に3年生は社会科見学を実施し、地域のスーパーマーケットを見学したり調査したりしながら、販売の仕事について学びました。今回は、普段目にはしているスーパーの店内の様子だけでなく、関係者でなければ入ることのできない場所も見学させていただき、スーパーで働く人の様子やお店の工夫など、詳しく知ることができました。また、疑問や不思議に思ったことをたくさん質問し、副店長さんの答えにうなずきながら聞いて、理解を深めました。私たちの生活は、たくさんの人たちが一生懸命に働いて



いてくださることで成り立っています。子どもたちが、自分の周りの人たちの仕事を理解し、様々な人たちに感謝しながら、将来自分の家族や地域社会のために、精いっぱい仕事ができる人に成長していくといいなと思います。明るい未来のために。